

## 取組と目標に対する自己評価シート

伊賀市：自立支援・重度化防止

<b>タイトル</b>	認知症の人を地域で支え合う（認知症サポーターの養成・活用）
-------------	-------------------------------

<b>年度</b>	2019（令和元）年度
-----------	-------------

### 前期（中間見直し）

<b>実施内容</b>
伊賀市高齢者輝きプラン（第5次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画）P54
<b>自己評価結果</b>
<b>課題と対応策</b>

### 後期（実績評価）

<b>実施内容</b>						
認知症サポーター数（地域包括支援センター）						
計画期	第6期			第7期		
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	—	—	—	5,300人	5,500人	6,000人
実績値	4,079人	4,744人	5,100人	6,377人	6,982人	
<b>自己評価結果（◎）</b>						
<p>認知症施策推進大綱では、小売業・金融機関・公共交通機関等の従業員等をはじめ、人格形成の重要な時期である子ども・学生に対する養成講座を拡大することとされている。当市においても、学校や地域、職域等への働きかけを積極的に行い、サポーター養成講座の開催に協力をいただくことができた。このことにより登録者数が目標値を大きく上回った。</p>						
<b>課題と対応策</b>						
<p>これまで養成してきた認知症サポーターの中で、認知症の人やその家族の手助けをしたい、具体的な活動を行いたいという意欲のある認知症サポーターに対して、ステップアップ講座を開催する。認知症（介護）予防教室や安心見守り声かけ訓練を各所で開催し、支援者を増やし、認知症になっても安心して住み続けることのできるまちづくりを目指す。</p>						